



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 小池酸素工業株式会社

コード番号 6137 URL <http://www.koikeox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 横田 修 TEL 03-3624-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,650	9.5	575	△4.9	567	12.3	173	7.7
23年3月期第2四半期	17,950	△11.6	604	△37.4	505	△54.7	161	△72.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 337百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △329百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.15	—
23年3月期第2四半期	3.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	49,778	22,338	42.1
23年3月期	48,485	22,321	43.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 20,948百万円 23年3月期 21,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	7.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当 2円00銭
24年3月期(予想)期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	9.5	1,200	△11.0	1,300	6.6	1,500	13.3	35.81

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	45,229,332 株	23年3月期	45,229,332 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,349,568 株	23年3月期	3,348,358 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	41,880,659 株	23年3月期2Q	41,886,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による電力不足、原子力災害に加え、円高の進行、雇用情勢の低迷など厳しい状況にありましたが、東日本大震災により寸断されたサプライチェーンが早期に回復するなど、着実な持ち直しの動きが見られました。

当社グループの主需要先である鉄鋼、造船、産業機械、建設機械などの各業界においては、国内では設備投資の先送りなど一部に低調な動きがありましたが、東日本大震災の復興に向けた需要の回復や中国を中心としたアジア経済の成長に支えられ、おおむね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、円高による競争力の低下や収益圧迫もありましたが、販売活動の強化および海外市場への積極展開、新技術・新製品の開発、生産効率の向上、原価低減や経費削減に加え、節電対策にも積極的に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は196億50百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益は5億67百万円（同12.3%増）、四半期純利益は1億73百万円（同7.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、生産性向上を図ることができる環境に優しく作業者への負担が少ない切断機械システムの開発と販売に取り組みました。その中でも、ウォータージェット切断機「KOIKEJET」は粉塵ヒューム・閃光が無く、騒音も少ないことが評価され、2台受注するとともに、ストッカーを利用した自動搬出・搬入システム、歩留まり管理、集塵装置など多岐にわたる総合生産管理システム「トランスフォーマー・プロダクション・システム」を受注しました。また、簡易型NC搭載切断機「PNC-10」は、コスト面と品質面から大きな評価を受け、好調な販売が続きました。さらに、省電力・メンテナンスフリーなどの点から次世代のレーザー切断機として期待を集めている「ファイバーレーザー切断機」の開発に取り組み、25mmの厚鋼板の安定切断を他切断機メーカーに先駆けて成功させました。

海外においては、新規開発した世界標準のグローバル切断機「VENTEC」、「GAMMATEC」の生産・販売活動を欧州にて本格化させ、多くの引合いを獲得しました。また、6月の北京エッセンショーへの出展に続き、7月にインドで開催されたワールドインディアへ初出展し、新しく設立した現地法人コイケ カutting アンド ウェルディング（インド）(株)の紹介、新規販売網の構築など、引合い・受注の増加に向けて有意義な出展となりました。

生産面においては、新興国の台頭、円高の進行などにより国内外を問わず価格競争は激化し、厳しい受注価格での生産活動を求められましたが、土気工場（千葉県千葉市）へ生産ラインの移転を完了させ、生産の効率化に努め、部品の共通化、短納期化を図るとともに、夏期節電対策として操業日のシフトなどを実施しました。

その結果、売上高は84億33百万円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益は3億45百万円（同61.0%増）となりました。

高圧ガス

工業用ガスにおいては、東日本大震災の影響によりガスの販売量は低調に推移しましたが、ガス営業を強化した主要事業所を中心として、保安・省力化の提案などガスの新規開拓を行うとともに、ガスアプリケーションとしての「酸素昇圧ユニット」の販売強化を図りました。ガス工場では、コスト削減と夏場の節電対策に取り組み安定供給に努めました。また、群馬工場において容器管理の効率化を目的としたRFタグ（ICタグ）の実証実験を開始しました。

医療分野においては、院内機器の主力製品である「ヨックスジェット」（ポータブル吸引器）、「ヨックスディスプレイ」（ディスプレイ吸引器）や買い替え時期を迎えた「バラーメド」（高気圧酸素治療装置）の販売が好調でした。また、「KM-X」（超小型酸素濃縮器）と「ジャスミン」（睡眠時無呼吸症候群治療装置）のレンタルを強化しました。

その結果、売上高は76億2百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は5億29百万円（同19.6%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、溶接材料メーカー各社の価格改定に伴い、値上前需要に対応しましたが、東日本大震災の影響を受けた自動車、建築業界の低迷により販売量の回復には至りませんでした。

溶接機器においては、販売組織の充実を図り、各地域展示会を開催し、引合い・受注を得ることができました。また、5月から9月まで逆火防止器を主体としたアポロUL認証取得記念セールを実施し、認証取得商品の品揃えを全面に掲げ、逆火防止器、溶断溶接ホースセット、ワンタッチ継手などの販売につなげることができました。さらに、今夏の季節商品として、工業用扇風機、スポットクーラーなどを全国展開により拡販を図るとともに、円高を生かした新輸入商材として、新型溶接用液晶面、革手袋の販売を実施しました。

その結果、売上高は31億54百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は58百万円（同15.7%減）となりました。

その他

ガス機器においては、設備の増設が旺盛な日本と台湾のメーカーに販売活動するとともに、設備投資意欲が継続している中国の太陽電池業界に対して、5月に上海で開催された展示会において、新規開発した普及型排ガス処理装置「OC SERD」をPRしました。また、新規代理店を開拓し、さらなる販売促進を開始しました。しかしながら、業界全体としては、設備投資の減少傾向により受注量が減少しました。ヘリウム液化装置においては、国内の大学から1台受注しました。

その結果、売上高は4億59百万円（前年同期比17.6%減）、セグメント利益は99百万円（同31.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**①資産、負債及び純資産の状況**

当第2四半期連結会計期間末の総資産は497億78百万円であり、前連結会計年度末に比べ12億93百万円増加しました。

流動資産合計は291億95百万円で、前連結会計年度末に比べ13億75百万円増加しました。これは主に受注増加に伴う仕掛品などの棚卸資産の増加15億12百万円によるものです。

固定資産合計は205億83百万円で、前連結会計年度末に比べ81百万円減少しました。これは主に所有株式の時価の下落によるものです。

流動負債合計は214億58百万円で、前連結会計年度末に比べ15億20百万円増加しました。これは主に受注増加に伴う仕入高の増加による支払手形及び買掛金の増加と、前受金の増加によるものです。

固定負債合計は59億81百万円で、前連結会計年度末に比べ2億43百万円減少しました。これは主に長期借入金の返済によるものです。

純資産合計は223億38百万円で、前連結会計年度末に比べ17百万円増加しました。これは主に四半期純利益の計上及び為替換算調整勘定の増加と、配当金の支払によるものです。

この結果、自己資本比率は42.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に売上債権の回収などの増加要因と、収用に係る代替資産としての有形固定資産の取得、長期借入金の返済、社債の償還などの減少要因により、前期末に比べ、5億25百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業によるキャッシュ・フロー)

主として税金等調整前四半期純利益5億1百万円の計上と、売上債権の回収などにより、営業活動の結果得られた資金は21億68百万円（前年同期は20億2百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主として収用に係る代替資産としての有形固定資産の取得による支出により、投資活動の結果使用した資金は11億12百万円（前年同期は7億87百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主として長期借入金の返済と社債の償還により、財務活動の結果使用した資金は5億64百万円（前年同期は8億7百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。詳細につきましては、「平成23年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析②次期（平成24年3月期）の見通し を参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,371	6,911
受取手形及び売掛金	13,098	12,499
有価証券	74	74
商品及び製品	3,909	4,584
仕掛品	1,794	2,385
原材料及び貯蔵品	1,498	1,743
その他	1,341	1,239
貸倒引当金	△267	△242
流動資産合計	27,820	29,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,028	3,917
機械装置及び運搬具（純額）	1,596	1,467
工具、器具及び備品（純額）	528	486
土地	9,448	9,422
リース資産（純額）	730	732
建設仮勘定	393	709
有形固定資産合計	16,724	16,735
無形固定資産		
のれん	212	173
リース資産	12	23
その他	405	410
無形固定資産合計	630	607
投資その他の資産	3,309	3,239
固定資産合計	20,664	20,583
資産合計	48,485	49,778

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,313	10,729
短期借入金	3,711	4,276
1年内返済予定の長期借入金	969	827
1年内償還予定の社債	600	310
未払法人税等	433	166
賞与引当金	358	373
役員賞与引当金	55	23
受注損失引当金	23	7
製品保証引当金	9	11
その他	4,464	4,731
流動負債合計	19,938	21,458
固定負債		
社債	270	330
長期借入金	873	659
退職給付引当金	299	304
役員退職慰労引当金	182	195
資産除去債務	9	9
その他	4,590	4,484
固定負債合計	6,225	5,981
負債合計	26,164	27,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,683	16,575
自己株式	△819	△819
株主資本合計	22,249	22,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	216
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	△160	△172
為替換算調整勘定	△1,393	△1,238
その他の包括利益累計額合計	△1,228	△1,193
少数株主持分	1,300	1,390
純資産合計	22,321	22,338
負債純資産合計	48,485	49,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	17,950	19,650
売上原価	12,975	14,588
売上総利益	4,975	5,061
販売費及び一般管理費	4,370	4,486
営業利益	604	575
営業外収益		
受取利息	8	11
受取配当金	32	29
受取賃貸料	43	43
物品売却益	13	18
貸倒引当金戻入額	—	20
その他	50	56
営業外収益合計	148	181
営業外費用		
支払利息	61	53
賃貸費用	34	39
為替差損	131	68
その他	20	28
営業外費用合計	247	188
経常利益	505	567
特別利益		
固定資産売却益	4	4
投資有価証券売却益	6	—
貸倒引当金戻入額	8	—
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	178	—
収用補償金	—	7
特別利益合計	198	12
特別損失		
固定資産除売却損	8	13
減損損失	5	28
投資有価証券評価損	—	13
災害による損失	—	3
ゴルフ会員権評価損	41	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
工場移転費用	—	18
その他	0	0
特別損失合計	58	78
税金等調整前四半期純利益	644	501
法人税、住民税及び事業税	229	172
法人税等調整額	190	50
法人税等合計	420	222
少数株主損益調整前四半期純利益	223	278
少数株主利益	62	104
四半期純利益	161	173

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223	278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△233	△108
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△319	167
その他の包括利益合計	△552	58
四半期包括利益	△329	337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△361	220
少数株主に係る四半期包括利益	32	116

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	644	501
収用補償金	—	△7
移転費用	—	18
減価償却費	575	626
減損損失	5	28
のれん償却額	70	78
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24	△38
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39	15
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△32
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△16
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	17
製品保証引当金の増減額(△は減少)	2	2
受取利息及び受取配当金	△41	△41
支払利息	61	53
ゴルフ会員権評価損	41	0
固定資産除売却損益(△は益)	4	9
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△6	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	△178	—
災害損失	—	3
売上債権の増減額(△は増加)	116	1,462
たな卸資産の増減額(△は増加)	59	△1,431
仕入債務の増減額(△は減少)	575	1,390
未払消費税等の増減額(△は減少)	△190	△14
その他	49	△1
小計	1,752	2,636
利息及び配当金の受取額	40	44
利息の支払額	△62	△53
移転費用の支払額	—	△18
災害損失の支払額	—	△1
法人税等の支払額	△115	△439
法人税等の還付額	386	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,002	2,168

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△241	△460
定期預金の払戻による収入	132	445
有形固定資産の取得による支出	△606	△998
有形固定資産の売却による収入	14	68
無形固定資産の取得による支出	△69	△79
投資有価証券の取得による支出	△15	△95
投資有価証券の売却による収入	24	1
子会社株式の取得による支出	△30	—
貸付けによる支出	△10	—
貸付金の回収による収入	14	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△787	△1,112
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	227	487
長期借入れによる収入	200	180
長期借入金の返済による支出	△597	△536
社債の発行による収入	—	200
社債の償還による支出	△250	△430
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△251	△293
少数株主への配当金の支払額	△15	△20
その他	△120	△152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△807	△564
現金及び現金同等物に係る換算差額	△126	34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	281	525
現金及び現金同等物の期首残高	6,566	6,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,847	6,530

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,104	7,084	3,203	17,392	558	17,950	—	17,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,104	7,084	3,203	17,392	558	17,950	—	17,950
セグメント利益	214	442	69	727	144	872	△267	604

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、加熱プラズマ機器、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△267百万円には、セグメント間取引消去72百万円、のれんの償却額△70百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△453百万円、棚卸資産の調整額178百万円、その他の調整額5百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,433	7,602	3,154	19,190	459	19,650	—	19,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,433	7,602	3,154	19,190	459	19,650	—	19,650
セグメント利益	345	529	58	934	99	1,033	△458	575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、加熱プラズマ機器、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△458百万円には、セグメント間取引消去71百万円、のれんの償却額△78百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△473百万円、棚卸資産の調整額16百万円、その他の調整額5百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	9,140	153.1
高圧ガス (百万円)	171	96.9
報告セグメント計 (百万円)	9,312	151.5
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	9,312	151.5

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	8,512	203.7	6,190	219.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	8,433	118.7
高圧ガス (百万円)	7,602	107.3
溶接機材 (百万円)	3,154	98.5
報告セグメント計 (百万円)	19,190	110.3
その他 (百万円)	459	82.4
合計 (百万円)	19,650	109.5

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。